

川田市長と

まちかど

開催報告



タウンミーティング

開催概要

日時:令和7年7月26日(土)午後6時~7時

会場:橋本小学校 体育館

参加者:9名

テーマ:公共交通

タウンミーティングの流れ

- ① 開会 (事業目的の説明 等)
- ② 市長から説明 (市の公共交通に係る施策について 等)
- ③ 参加者と市長との意見交換 (テーマについての意見交換)
- ④ 閉会

【意見交換の主な内容】



参加者

コミュニティバスの運行時間について、帰宅ラッシュ時の18時台がないというのは今後も変わらないのか。



市長

おっしゃるとおり現在の運行時間では夜間のカバーができておりません。ただ現状のルートの時点で運行に年間7,500万円かかっており、そのうち運賃でカバーできている分は2,500万円程度で残りの5,000万円は市のお金で補填してやっと動いているという状態です。それを踏まえて例えば19時以降や20時以降まで運行時間を延ばした時にコストがどれだけ増加するか等の試算も含めて、夜間のカバーについては色々と検討及び試算をしていきたいと考えております。



参加者

樟葉駅に行くと樟葉駅にもコミュニティバスが発着している。尋ねてみると八幡市で運行しているコミュニティバスとは別に動いているものだった。違う行政が運行しているバスだがこれをドッキングできないかなと思う。八幡市役所で用事を済ませて帰りに本屋へ寄ったりしたら樟葉駅までのルートは乗り換えの必要がある。コスト的にもドッキングできたらと思う。

あと、今再編されているバスルートの最終的な図面ができるのはいつごろになるか。



市長

おそらく樟葉駅で見かけられたバスというのは枚方市が運行してるものではないかと思います。普段、樟葉やJRの松井山手駅、またニトリモール等、こういったところをご活用されている方は多くいらっしゃると思います。ただ、本当に心苦しいのですが、行政が行うとなると八幡市であれば八幡市の予算、八幡市の市民の皆様の税金で運用している都合上、他の自治体に単独でバスを走らせるということが今のところ手段としてありません。ただ、おっしゃるとおり市民の皆様は行政間なんて関係なく普段生活をされていますから、樟葉に行きたいとか枚方に行きたいということに関しては、現状京阪バスさんや民間の事業者さんに頑張っていただきたいと思っております。だからこそ市としましては、便数を減らさずに路線を充実させてくださいということをしっかりお伝えしていきたいと思っています。

再編ルートの最終的な決定につきましては、実際の運行に係る手続きや民間業者とのやりとり、契約等があるので実際に動き出すまでには必然的にあと1年はかかってしまうだろうという見込みです。



参加者



市長

ルート再編後のコミュニティバスはまた京阪と契約になるのですか。

京阪バスさんは会社が細かく分かれていらっしゃるしまして、樟葉まで運行している赤と白のバスは「京阪バス」という会社になります。そして本市がコミュニティバスの運行を委託しているのは「京都京阪バス」といって、かつては「宇治交通」という名前でした。今回の再編ルートにつきましても基本的には「旧宇治交通」の方の「京都京阪バス」に委託し、ルートによってはタクシー会社さん等も含めてお話しをさせていただいて、組み合わせた運行をしていく見込みです。



参加者

既存のバスルートが少なくなってきたのは大阪万博で運転手がとられているからではないのか。そうであれば大阪万博が終われば運転手不足は少し解消されるのではないかと。



市長

バスの運転手不足が大阪万博によるものなのではないかというお話しですが、それをおっしゃっている方も一部いらっしゃいます。一説としてあるのかもしれませんが、実際に万博が終われば運転手や便数が戻ってくるかということそれはかなり厳しいです。

なぜかという、そもそもこういった路線バスは儲からないということが一因です。例えば京都市内でたくさんのインバウンド客を乗せて観光バスを運行した方が絶対に儲かる。そのため万博が終わっても観光バスの方に運転手さんが振り分けられることも考えられるので、そういった中で路線バスに戻ってきてくれるという保障は、残念ながらないと思われま。



参加者

老人ホームを運営している会社に在籍しているが、老人ホームの社用車は余っていたり、あまり使わない車両があったりする。大阪万博による運転手不足のお話しもあったが、二種免許ではなく一種免許でもお客さんを運べるようなサービスも始まっているので、そういった民間に協力を依頼していくことも必要だと思。



市長

おっしゃっていただいた福祉事業者さんの協力というのは非常に大きいと思っております。すごく新しいご意見でありがたいです。市として想定していたのは八幡市内にも大きな工場がいくつかあって、それらの工場はバスと運転手を確保して従業員の皆様をバスで送迎されております。ただ、それも社員さんの入れ替え時間以外はバスと運転手さんが空いておられる状態だと思。そのため、社員送迎用の車両や、今おっしゃっていただいた福祉用の車両を活用させていただくということも今後検討していきたいと思っております。国交省との連携協定の中にはアドバイザリーというものも入っているので、やりたいことに対して、法律的にどういうふうクリアしていけばいいのかというのを教えていただけることになっております。我々も民間の事業者さんのお力を借りることも考えていきたいと思っておりますので、今後も検討していきたいと思っております。



参加者

石清水八幡宮駅の駅前やその周りは今後どうなっていくのですか。



市長

駅前エリアのまちづくりは今後しっかりと進めていかなければいけない重要な課題だと思っております。石清水八幡宮駅前のしつらえや動線が整っていないとせっかく観光客の方々が石清水八幡宮であったり背割堤の桜を見に来てくださっても満足感がなかったりまた来ようと思えなかったりします。あとはちょっとお茶をするなどのいわゆるお金を落とすところもないという状況は、私としても少しもったいないと思っていますので、今まさに市民の皆様とワークショップをやりながらランドデザインという大きなエリア設計をしているところです。またそちらも見ていただいてご意見をいただけたらと思います。